京都市北区小松原南 TEL@2334

希

望

業記念

萠えよ、第六期 第六期生卒業 やがてここからどんな、 希望一 葉が花が、そして実が。 今やほどけはじめた 芽、 芽、みどりの芽



冬の雪に耐え、 寒さに耐えて

葉の上だけであって、その人の心の奥底の わかります、さて健康は人間の幸福のすべ 趙越しているかのような態度をとるある高 気持とあわないものであります。 は湿わない」と言っても、それは単なる言 人がたとえ「僕はべつに幸福になりたいと って幸福への人の欲は全く自然の要求で、 要な要素であることは確かであります。従 るか、いかほどそれを求めているかがよく き、人間だれでもいかに健康に執着してい 気になりたいと願うものです。また世界中 ニコヨンでも、気分が悪い場合、それがた な身近かな証拠として、えらい学者でも、 ない事実であります。この事実のごく平凡 ども学者であろうと、無学者であろうと、 **慢ちきな哲学者や作家たちがいます。けれ** 夢中になっているのに、自分だけはそれに てではありませんけれども、その一つの軍 で人が 利用する 英大な 薬の量を考えると とえ軽い頭痛であっても、みなひとしく元 たれでも幸福を求めていることは否定でき

うに考えやすいかもしれません。 う考え……若い人はあるいは、こういうふ ならば、最高の幸福を得られるだろうとい てなんにも関係をもたないで、自分のこと そう感じ勝ちであります。つまり、勉強も まま」「気まま」にあると考え勝ちであり けですが、幸福が得られる方法とか、幸福 だけ考えて、自分の要求だけを充たし得る うという考え……、また他人のことについ 手に遊ぶことができれば、なんと幸福だろ 仕事も資任もなくて、ただ朝から晩まで勝 ます、口ではっきりとそう言わなくても、 幸福への道を、先ず「怠惰」そして「我が て千差万別であります、多くの人はとかく への道ということになりますと、人によっ であります、もっと努力すべきだというこ か欠けたものを感じ、満足していないもの とはわかっていながらも、それを実行する

す。そして映画館を出て現実の生活にかえ 岸で遊んだり、高級ホテルで御馳走をたべ み、それを大変うらやましくも思うので 沢な生活を享受しているのをみる時、こう った途端に、深い失望を感じ、勉強や仕事 たり、ダンスを楽しんだりして、つまり贅 の若い男と女が、自動車で旅行したり、海 した人たちはなんと幸福だろうと思い込 一あの映画の人物はなんと幸せなんだろう 給うた真の人間の能力を、発達させてゆく 専門のものをもち、それがなくても何か研 まの生活にはないのであります。だから人 のします、皆さん、幸福は決して怠惰気ま 究をつづけて、自分にひそんでいる尊い人 間は精神的な面や知的な面において、何か きちがいじみた遊びの生活に夢中になった うした自分自身への失望を忘れるために、 なることもあります。場合によっては、こ ことのできない自分自身を軽蔑するように

のります。平凡な人達がいわゆる幸福論に 人間はだれでも幸福を求めているもので

とうの幸福でしょうか、それは決してほん のですが、映画や小説といういわゆる虚構 す、それは何故でしょうか。 とうの人間の幸福ではないと断言できま の世界を離れて、現実に眼を向けてみよ いるかも知れませんが、果してそれがほん 贅沢な気ままな生活をしている人は成

ではありません。人間は理性やいろいろの う気持をおのずからもっているものであり く、時に知的、精神的面に成長したいとい るように思われても、心の奥底ではなお何 店をして、

表面大いに満ち足の

た状態にあ 満足もありません。たとえ贅沢気ままな生 格の完成へ進むというほんとうの喜びも、 れにも かかわらず 多くの人は 努力しませ りを実現するのには、努力が必要です。そ ます。ところがこのような気持なり望みな であります、つまり、肉体的面だけでな て、ますます深い知識を得ようとするもの らかせて、自分や周囲の世界、自然につい たり、遊んだりするだけの生活をするもの 能力を備えたものであります。理性をはた 人間はただ動物のように眠ったり、起き そんな人には進歩もありませんし、人

つも持っていただきたいと 葉を、よくかみしめていただ 拡がります。どうか生徒の皆さん、「自分 っておられることでしょうし、生活の場も らば、ほんとうの意味において、人格は完 り上げるためには、どうしても他の人に奉 にあやかって造られた人間という言覚をい だけの数にとじこもっては」 を迎えた生徒の皆さんは、それぞれ夢をも 成しないとも言っています、特に、卒業期 蟹のように自分の殼にとじて 仕すべきであると言っています。若し入が 現代の心理学者達は、円満な人格をつく 念じてやみま きたいし、神 というこの言 もっているな

第六期生へ 校長ョゼ フ・ナドウ

一校生活を送ってもらいたい。 かこれを機会に、今後秩序ある学

人もし蟹の殻に

とじこもるならば

!若しも、若しも、僕が金持ちの子で、あ ことができれば……がしかし、試験の準備 に出かけたり、ダンスをしたりすることが などに苦労しなければならない僕のような できれば……あのようにレジャーを楽しむ のように毎日毎日水泳に行ったり、スキー とても考えることさえできない。ああ、な 人間には、あのような「幸福」はとても、 んたる痛しさ……」

せん。よく働き、よく勉強し

てこそ、休け きではありま

> き、又守らなければならぬ文化財 京都においては、世界に誇るべ なはだしいものである。特にこの 財の破損や火災による消失は、は

が多いだけに、これからもそのよ

してこれを生活の本体とすが

いや遊びや、レジヤーを利用することが楽

しいものになるのです。働い

たればこそ、

腹も空いて食べ物が何んでも美味しくなる

らば、いつか

は見られない。中にはどうしてあ

んな所に書けるのかと疑問を持つ

この社寺へ行っても落書のない所 すい危険は落書であろう。今日ど ておくべきである。最も侵されや うな災害ののおこることを、心得 れはあくまで気分転換を目的とし、生活に

もちろん遊びは結構なものです。然しそ

★さて、今号のこの欄では道徳に

ついて考えてみたい。近頃の文化

変折りたい。

め、先輩諸兄の御幸運 て来た。高三諸君始 ている迄に押し詰まっ 笠

もので、今年度も、も う卒業式が間近に控え

★月日のたつのは早い

変化をあたえるためのものであります。決

映画をみたり小説に夢中になったりする若 い人たちは、とういう風な考えに陥り易い 一種の満足なり、幸福なりを味わって ように。遊びが本体になるな 興味もなくなって退屈になってしまつもの 次に申し上げたいことは、

幸福は決して

きことが起こるのであろうか。根

い。どうしてこのような悲しむべ

や放火等、数えあげれば限りがな

ほどのものもある。又、器物破損

少しでも活動するならば、その不満な気持 立ちます。一流ホテルに行 れるということであります、 手で、どんなことにも満足できないからで す。満ち足りた気持からくる落ち付きは、 うにこんな人に出あいます。 り幸福感にひたったり、満足しきっていな をしたりしますが、それでいて、どうも余 くて、他の人への奉仕の生活 気ままや、我がままな生活に はかならずなくなりましょう 他の人のために、例えば貧しい人のために 抑え、自分以外の人のことに す。こういう人が、若し自分の我がままを 少しもみられません。余りに に、気持の上では 乞食よりも 不幸な人で 言っています。不自由な点は一つもないの 事やサーヴィスなどについて、文句ばかり せん。そういう人は、金にまかせて何んで ちの我がままな人を知っているかも知れま いようです。なにかにつけて も好きなものを手に入れたり、 腹を向けて、 あるのではな も我がまま勝 自分の室や食 は、毎日のよ 不平が先きに 情さんは 金持 にこそ見出さ 好きなこと

ているようだが、それが単なる流

づくり」を相言葉にやっきになっ

くこれに気が付きかけたのか「人

上げられよう。池田首相もようや 本的には日本人の道徳心の低下が

行語に終らないように期待する。

★さて、このような大きいことば

かりを言っていても、何もならな

立つのである。

成り立たない」のである。小がし 「る」と言うが「大は小なくしては

っかりと出来ていてこそ大が成り

道徳心である。

「大は小を、兼ね

か。それは我が洛星内での生徒の

それでは小さいこととは何

だ。楽しい雰囲気と無秩序とはま は何人いるであろうか。先輩が久 |諸君もそのために励んでもらいた で最も立派な国となるであろう。 神社の宮司さんを招いて講演会が るで別個のものなのである。どう ですか」と先生に尋ねられたそう 頃はやかましくしていてもいいの いても、それをゴミ箱に捨てた者 実際に励んで来た者が何人いるで 実にこの通りなのだが、あれ以来 開かれたがその最後に「日本は決 文化祭記念行事の一つとして建ト しぶりにこの学校を訪れて「この い。これに道徳心が備われば世界 ★覚えている者もいよう。 昨年の い」という言葉のあったことを。 して西欧諸国に劣るところはな

星

浴

(2) チャペル IV の建設資金の結果は仲々良好

の建設資金の募集に休む暇もなくは、いつもボーツかすんでいますいと思います。 にお着きになり、洛星のチャペル しています。その点、日本の景色 に困難な補導ですが努力してみた たれたアラール神父様は、カナダ海、空と雲の区切のが、はっきのす。 これは、私達にとって、非常 去年の四月二十四日に羽田を立 気がたいへん透明ですから、山との補導よのも、中からの 補尋で

講演、説教に各地を急がしく回ら

ネノこれは、東洋人と西洋人との そして、船で去年の十二月十五 関係があるかもしれません……。 す。そして、たびたび失敗します 物の考え方や文化の性質の違いと の経験の チャンス を与え られま 向こうの生徒は、その為に多く

※に十二月三十日夜再び戻ってと入は、多いですが物価も高いのでん。これは、彼らが日本よりも、 日に サンフランシスコ を出発 さ つの様子等を書いていただいたの 私の説教や 講演には、 多くの 人 気にしすぎる様に思います。 れ、なつかしい第二の我が家、洛 分皆さんが考える程高くない。 収 り、 努力をやめ たりは、 しませ 以下、アラール神父様に、向乙は、非常に強く、日本についてのう。その点、日本人は少し失敗を が、参加して、又多くの寄付をし、彼らの学校の設備は、確かによ す。 いっぱんに、 日本への関心 ずっと若い国の人達だからでしょ 次に、向こうの生活程度は、多が失敗しても、恥ずかしがった

19

へ行って、いろいろ見たり感じた それから、向こうの学校につい す。しかし日本の生徒達にそれを したことを、思いつくままに、てですが、私は多くの学校の補辱与えるならば、もっとそれを上手 こんど、私がカナダやアメリカてくれました。 部長会議に出席して、新しい傾向に利用するだろうと思います。 ろしい。ちょっと、良すぎる程で

住んでいます。だから、少しさびも、生徒が卒業したあとで、どんが楽で、競争意識が少ないからで 本の三倍で、そこに五百万人だけ様な規則を、やかましく言うよのかです。これは、多分、大学入試 とえば、ケベック州の広さは、日卒業したらすぐに守られなくなるした感じがなくて、自然でなごや とほうもなく大きいことです。たが、その学校にいる間だけ守ってと生徒、生徒同志の関係は、緊張 して、汽車は、だいたい荷物だけ いる間に、つくらせる様な教育を 競争がない為に、なまけ者が多す まず、最初に向こうの自然は、に気がつきました。それは、生徒 雰囲気は、大変に明るく、先生 人々は、飛行機か当動車で旅行 を正しく判断する能力を、学校に わいそうですが、又向こうでは、 それから、日本と違って空重んじるということです。上から言る様です。 な場合にでも、自分で自分の行動しょう。日本の生徒は、その点か

神父様 カナダ

-戻つてこられるのは

行機で羽田から出発された。 ー神父様は、休暇としてなつか られて後、モントリオールに致 しいカナダへ帰られる為に、飛着された。 神父様は一九五六年十月十五 お話しになり、それから二年前 去年の十二月十八日にラトレ して、一応パンクーバーに立寄 致着されるとすぐ、院長様と と、ニューヨークの裏町だけにい ですが、本当は、それは映画の中

以上、私はいろいろと向こうの

星、生徒の為につくして来られ 員として、こわい兄貴として洛 兄弟等に会われた。 き相談相手として、補導部の一た新しい家に行かれ、 日に来日されて以来、我々のよ に焼け落ちて、、再び建て直され なお、神父様は今年の夏休み 御面親、 良い点や余り良くない点を書きま 様に、洛星をしようとは思っては もふさわしい教育の補導を、考え いません。日本では日本人に、最 したが、私は決して向こうと同じ

大日、七時三十分頃に、どだ、又、神父様の今の住所は、次、一校の規則や、先生達の教えを、自 ラトレー神父様は、十二月十る。 の通り。

中に帰ってとられる予定であ

ただ、私は洛星の皆さんが、学

後八時に羽田から立たれた。そ ラトレー神父様(ケルブ館で)

5 6

No.

Provincial House, 1145 West, St. Viator Montreal (8), Que. Canada. X/I Casselman, Ontaroio Fr. Jacques

Latreille, C. S. V.

分の力で、自分の意志で守る様に した学校になると思います。私は したら、洛星はもっといきいきと 心掛けてほしいと思います。そう

いる。

Father Francois Allard (補導部長)

後 Щ

ようつ を去るにあたり、僕がこの六年間 たく間に過ぎ去ったとも言えるし た。あと一月で卒業となる、また との学校に入ってから六年たっ

う。親友等作ろうと思っても出来 許して話し合える友人を持てない |生時代にしか出来ないのが現状だ | の学校活動に協力の偉力はよく皆 の意味での利害を越えた友人は学一ラブ活動、文化祭、クリスマス等 観する必要はない。(もっとも成 だけの興味を持つべきである、真 境を持つ諸君等は、友達に出来る と思う。たとえ成績が悪くても悲 は友達によって決る、幸いにも生 極端に言えば、学校生活の意義 んなの知るところとなる。 又もう一つの創造について言い

である。 くない。

本の人の中に、自分では「エエ(マンボズボンの人はいません。日

しかし、バサバサの髪の毛や、

コウ」だと思っている人がある様 良いという意味の京都方言)カッ

おっちょこちょいで、嬉しがりや のままで卒業するのは大きな損失。ギーである。このエネルギーは個 である。今卒業するに際してつく づくとそう思う。 以上勝手な事を述べてきたが、 もいい 人の内に秘められていてもいい し、又その人の外に表われていて

何年か後に卒業するとき、ああ、 様な学校生活を送る事を期待して この学校にきてよかったと思える | て人間として誇らしいものであろ れて結構である。 の先輩の気ままな感想と思ってく一造のエネルギーをもって、他の人 (諸君が) あと

造 麻 ح 田 協力

創

なっても別にセンチメンタルな気一の誇りとするに十分なものである一てもまるで友達同志の様な話し方

もう少しで卒業式を迎える今とりもなおさず僕等も含んだ卒業生であったのに、今では先生に対し

徒の数が少ないという恵まれた環 | 大抵の場合人との協力を必要とさ に感じた事を少しばかり述べてみ一を。協力ということは諸君は身を 又長い年月でもあった。この学校一て僕は諸君に言いたい。「創造」 樹 間が何事かをする場合においては も協力は必要である。社会的な人 ということと「協力」ということ」んな生徒であったとしても、卒業 いことである、学校において、ク れる。協力ということはすばらし もって良く経験している。何事に がぶつかった事あるいは新しい事 にぶつかられる。その時にあたっ ことを意味している。そして僕等 持にはならない。又これからなっ

意志がなければ出来ないのも事実一言いたい創造とは何にも大袈裟な いが、友人に頼り、友人を求めるるとも言い得る。さてことで僕が るものではないと思つかも知れな一っといえば人間は創造の動物であ 者はいないと思うが)しかし心を一語から何を想像されるだろうか、 者は多いに考える必要があると思しれるだろうか、いや創造というこ 績が悪くて悲観する様な無気力な | たい。 諸君は 「ソウゾウ」 という い。これはやたらに親や教師にた一ってほしいということである。他 第二に 反骨精神 を持って ほし |極的な考え方、あるいは行動をも とは大変人間に近い所にある。も 何か一目置いた所に意味を見出さ 意味で言っているのではない。積

でつけという意味ではない。自分 の人の言う事を禍吞みにしたり、 の内に、何物にも左右されないし一作られた物のみを使ったり(現在 いている様な人間にはなってほしい。何事に対しても作ろうとした を向けと言われたら一日中左を向る。このようなことではいけな たものでなければならないが)左一うとしなかったりする人が多くい 味ではない。しかし宗教に無関心|極さが僕の言いたい創造のエネル ある。(勿論それは弾力性を持っ」ときには作られた物も考えて使お っかりしたものを持てという事ではそのような時代だが、ひどい ある。これは信者になれという意一を持つべきである。このような積 第三に宗教に関心を持つべきで一はうまく使用しようとする積極さ り、発見しようとしたり、あるい

う。この創造と協力とを後輩諸君 れてくるものはすばらしい、そし と協力すれば、そこにおいて生ま 各個人がこのような積極的な創

が持ってこの洛星中高等学校にお とであろう。このような学校はと ける学生生活を送ることは、この 若人の学校とするこ 新しい先生の顔や友達の顔ばかり うたことを感謝し奉る――そのよ 眼を、不幸な眼を、われに与え給 をもったエリートであるところの うにいい得る人は、また、しあわ せな人でもあるのです。

学園に思う

稿

野襲に 思う

をいろいろ書いていただきました。校三年生の方に、卒業式を迎えて思うことけておられる高校三年生。その忙がしい高今大学の入試の勉強にラストスパートをか

か、社会から孤立する、とかいう。きな希望を持ってほしい。全ての ぬ人間はふしあわせです。しかし のようなエリートでなければなら校舎よ、洛星よ栄光あれ。 かも知れません。神ももたずにそ一ゆかしく……と口ずさむ時白亜の 元に身をおいてみても、案外、此 った仕方で、この群集とは別の次 こととは少しも関係のないことで | 先生と話しをしたり、遊んだりし | くなる。それ程に体も | 人前にな | も一週間足らずで解放され、後 | か。これは、社会に反抗する、と 切なことなのではないでしょう。ったりだ。外人の先生と直接、接 岸との新しい和解の道がひらける す。それとは別に、それとはちが いただきたい。衣笠の松しらべも て親しくなりそれによって楽しい して立派な校風をより充実させて | る時が来ると思う。 している我々だけでも、もっと大

JII

うつくしくみる孤独の眼を、距離

大地よ、あらゆる汝の物象を

するのが僕達にとって適わしいだ | 念祭、クラブ活動の様な楽しい物 しまったこの六年間、とでも表現 といえば、修学旅行、生徒会、記 全く「あっ」という間に去って

々な出来事が思い出されてくる。 時期であるその六年間の周囲の色 ていた時代から、あと一年か二年 生活が終っていくと思うと全く複 時限の授業が終る毎に、高校 示会の用意をしたり、空 は三十回位やったと思う。他に大 出は人一倍程ある。コマーシャル ならなかったのが残念)クラブ展 入りで申しわけないが、自分は中

六年前には、どちらを向いても

I IJ 平

生たることは、それだけで、教訓 をされる資格を与えてくれるもの ます。何故なら、在学中の僕がどばならなかったのだが、かえって つの奇妙な教訓をたれたいと思い 別れのことばとはちがった、ひと お別れにあたって、僕は普通の

ちに生きて、知らないうちに死ん一派な人づくりがこの洛星にはある し、僕のいう意味はそれとは異っ」助解を与えられて来た。又それに とであるかも知れません。しか。そしてそれを通じて生徒が多くの どということばを語ることはみづ とおしえます。現在、エリートな でいるかも知れない不安に襲われ を、その高貴さを、保てというこが出来た様に思う。「人づくり」 からを非雨の視線の標的にするこの、ディスカッションをしたり、 なのですから。 しい、衣装のような孤独を身につ るようなこの雑踏のなかに、さび となのです。みづから知らないう た意味、即ち、みづからの意識 僕は君達に、エリートであれ、 ねといわれた。この事は目先の事 本の学生は考える事が小さいです のだ。先日、ある神父さんから日

けていることも、またひとつの大人ばかり考えている洛星の生徒にび 隆

僕の遺言

学生生活をより一層楽しくし、そ一学一年生もきっとこんな気分にな一きる見込みだ。ベ ったし、考え方もひねてきた。中 去る五年前はあんなに小さく、ま た可愛いかったのかと思うと嬉し 中学一年生を見て、自分も今を

ばかり。中でもクラブ活動の思い きれない。遺言とは、残念ながら たいことがある。これなしで死に わけであるが、どうしても遺言し めでたく六年間の生涯を閉じる一だ。落第した字と でも磨いて洛星に たような時なとに

た。この六年間、ある時は早く終 不忌識な事に、その時には非常に一ないことに要注意)に望遠鏡を向一去は過去である。青春字代は過ぎ

く人間社会が広がっているのだ。 ない未知の、今までよりずっと長が、先輩や後輩に 辛かった事が、こういう時期にな一けたり……その間の修得物は、無一たとしても、まだまだ命はある。 い期間に渡って僕達が生活してい そこにおける生活は、或る意味 何とか言って気取って見ても、

う人はそうはいないと思う。 自分 将来を決定する には 十二分だっ

「友達がいるとい |分に遊んだのではないけれど候の

なら誰でもある の十二分の一だ。 この六年を十二

は、クラブ活動中に沢山の立派なた。川柳を作った。

ともだちよ せんせいがたよ

らくせいよ

つまり縦の関係とでも言うか。我生活六年間は我が七十二才の生涯

それよりもっと大きな物である。一らねばならぬ事が山程ある。洛星

未来は限りなく広がっている。や

々は同学年の友達

たのだが、洛星の先生と生徒ほど が叫ばれている今日、こんなに立 だろう。勉強だけでなく、遊んだ よって一層楽しく勉強をすること 続密な関係を持って来た者はない
 先輩達が築いた校風を壊してしま 出になってしまった。洛星は歴史 風として是非残したい事がある。 った様にも思う。しかしながら校 も浅く僕達が立派な校風を作らね 僕は洛星の創等以来ずっと見て来

残された人生に、すばらしい貢献 きたもの、体得してきたものは、 と言う事だ。たった大年間の事で 年間を通じて得た貴重な経験や、 をするであろう事を信じてやまな あったが、その間僕達が経験して 何かの形で生かされねばならない 社会がどんなものであるにせよ、 大きく言えば思想というものは、 い。しかし今言える事は、この六一ず一度は「オッス では今までより有意義かもしれな はどの廊下を歩い 事をもう一つして卒業してもらいているかにみえる。しかし実は非らいない。何か悔いないしまう。一見時間を有効に利用しました。 吹けば桶屋がもつ る。いつも明るい顔。何をしても 先輩と可愛い後輩 強以外には何もせ てきたかな。とに わす。クラブ活動あっての結果で の結果は必ず表わ いやにならない… ある。学校へ来るのが楽しくな がる」話になっ ず学校を卒業す を知った、今で れると思う。勉 かくクラブ活動 …何だか「風が /」の言葉を交 ても、少なから

間は試験前など自習時間になって

好きではない。その為、倫理の時

我々の多くは社倫やミサが余り

れる宗教教育について考えたい。

洛星高校の特色の一つに数えら

田口

嘉之

宗教教育について

それでは皆さん、 の世代へと歩んで行けそうです。 て下さい。 しれでやっと肩 僕の遺言はこれで終りだが、こ 明るい人になっ 荷がおろせ、次 て下さい。僕も的宗教について知る必要があると かかっていない サイナラ 考える。 ものではない。唯常識として世界 だ。何も僕はカトリクを信仰する 常に貴重な時間を浪費しているの の物好きな連中が集まって普飯を

二年から三年にかけて、幾人か

我が洛星時代 不MMKだつた 森 田 衞

リックの知識を得た。ミサ曲も歌

残念に思う)そして断片的なカト

った事がある。補導部にも久しぶ

たものだ。(今ではそれも出来ず 食いながら、村田神父様を苦しめ

一代青少年体位向上により青年時代 くなってくる。友人が言うに、現 るんだそうだ。なる程、そういえ 月程でめでたく洛星からも脱出で ばこの頃体の調子がおかしい。我 | 験を目前にひかえた現在とてもで | しても、二十点が三十点にもなる は非常に早く始まり非常に早く終 を静かに思う事もできようが、受 はない。かえって悲しいくらい」、は多くの場合その特権を放棄し が青春も末期に近い。しかし勉強 楽しい(敢え) おける学生々活 書く)授業から つに嬉しいことは、いくらでも機会がある。我々 は、洛星の徽章 か、失恋でもし 問があれば質問すればよい。決し ポを向く人ではない。 |て神父はそんな事で恐って、ソッ る。文句があれば言えばよい。疑 勉強したり、首をつかさせて眠り శ్ర て、得したみたいな気になってい カトリック について 知りたけれ も戻って来た。との様に、我々は のに、綿愛なる、アラール神父様 事が一番であり、第一番目であ 週一回の社倫の間、上目使いに

おことわり

|もなくてもとにかく過去は美しく | せんでしたので、どうぞ次号をお 暮れた中・高校時代。我が青春梅 ゆる所なしだ。 又悔ゆる所あって | の都合上、どうしても載せられま に明け(調子にのるな)ディトに 「新聞の読み方(2)」は紙面

(地上で

甘いものだ。

かしあくまで過一楽しみにく。

ル大会が十二月二十六、七の二日 第十一回近畿中学校ハンドボー | 猛反撃を開始し、またたく間に11 -9と再度リードして前半を終っ

月塚一中20(91-8) 浴星中23(1112-3)3 楼原中 勝で惜しくも貝塚一中に惜敗をき まで期待通りに善戦したが、準決 京都のホープわが洛星中は

二回戦

けに

洛星としてはも

う一ふんばり にわたって豊中五中で行われた。一た。ここが勝負のヤマであっただ **学決勝(二十分ハーフ)** 一回戦(十五分ハーフ) 17洛星中 (奈良県) 洛星得意の遅攻のケースであった ほしかった。この場合は、完全な

前半開始早々、貝塚は3ー 試合経 過

ドのまま前半を終了しておればお たであろう。前半の貝塚はとにか そらく勝負は逆の結果になってい て、慎重に攻めるべきであった。 く強引にバックの間を割って得点 ので、もう少しボールをキープし を加えた。 洛星 バックス として 一点を焦ったようだが、洛星リー

が、洛星はその後序々にもり返し一におくことを忘れていたようで、一ているだけという結果になった。 なか多彩なものであった。テクニーとサイドからのセンターリング、 ようだった。しかし前半終了二分 に惑わされていたようで、普通な 来ず、タイムアップとなり、万事 り多くの人に与えて欲しいとの要 ックでは貝塚より少し勝っている。サイドからサイドへの大きなパス。り、遂に洛星は追い越すことが出。トリック教育を受ける機会を、よ 攻撃はバラエティーに富み、なか | に得点を許す結果となった。それ 国を面白くした。洛星のこの間の | る度々のケースにも、梁々と相手 | きるであろう。 **十五分には逆に三点差をつけ、勝** | そのために、チャージングが貰え | 洛星の敗因を調べればこれらに尽 9ー7とリードされた貝塚は一らカットできるボールも、ただ見一休した。

を取る者がいたこと。中にはスタ は、高校生の中に不真面目な感度

切られるのではないかと思われた | ある相手フォワァードを体の正面 ードした。試合はこのまま押し一たこと、ディアフェンスの鉄則で

造り出されてきた。そして『過 主 そしてようやく "洛星 の歴史。らしきものが 送り出すことになる。 も、もう六回卒業生を 今度の卒業で 洛星 で、前進過程におけるものには 3 る程度巾をきかしているのであ 会でも、今後の方針を「昔の洛 例えば、この洛星の中学生徒

であるかもしれない。 思い出が書かれている。 は卒業生の六年間の洛星生活の 又、毎年、この卒業記念号に いても「現憲法の全面的排斥。 懷古主義につい

かれる回数のふえたのもこの為 うやった」などと先生方から聞

5

No.

6

なのである。そしてこの二つの 別がつきつつあるのが今の洛星 は自然の経過である。そして、 ものが比較され、批判されるの この様に "過去と現在"の区 いる。 置る」という意見 (?) も出て 明治憲法から出発し、新憲法を くだろう。しかしそこで美しい この場合、小さな一、私立中

在を無視されがちなのである。 この様な傾向は極く平凡な事 として、又後者は民主主義国と ホープなる日本の国民全体の問 う。しかし、前者は、一名門校 題であって、スケールは全く違 学校生徒会の問題と、アジアの

感じられる。

しかし、懐古も客観的な場所えるだろうにちがいない。

(3)

惜しくも三位入賞に止まる

が、幸か不幸か青空 行われた。当日は天 会が十二月十七日に 気が心配されていた 好例のマラソン大は幸いであったが、学校側の善処 高校 次の通りである。 を要望したい。尚、順位と記録は

一位 一位 位 溝 富入 田 和男 隆 $\frac{C}{C} = \frac{C}{B}$ \cong A

高校、続いて九時四 を見せ、九時半には

十分には中学がスタ

四位 内田 石井 守雄 $\frac{\Box}{B}$

山本真一郎

戦の幕がきっておと された。惜しむらく トして、苦しい熱 六位

は、もつ一つ当りが充分でなかっ一った連中や、後かたづけが始めら 来て、校門前でお説数を受けてい れた頃にのこのこと歩いて帰って ートから堂々と校門前を歩いて行

わらず、両チームの打ち合いとなしたが出来る事。又、創立以来、カ 後半に入っても貝塚の調子は変一クラス位の人数を、収容するこ

必ずこの傾向が見られ、かつあもって、又、同じ様な問題を含 んでいるものなのだ。つまり本 して、同じ前進という共通点を 筋の懐古主義(?)という問題 懐古主義、つまり、過去を尊 ある。故に、必然的に、現在中 くまで現在上に次の現在をつく というものになる。反省とはあ る、いわば、現在を土台として からのものだと立派な。反省 つくるよき未来への橋わたしで

び、現在を無視する傾向。これ なるだろう。現在に生きている が徹底すると実に情ないものと 中心。片や、現在中心と全く二 この様に懐古にも片や、

て来た。「昔はどうやった。と懸るが、今の憲法改正問題にお

の洛星、と区別される様になっ 去の洛星、というものが、現在

つつあるし、話が大上段に振り

星に戻そう」というものに導き

だ。

なら、勿論色々なアラが目につ もの、良いものを過去に求めず して見出せないとは実に情な も不可能だ。しかし、現在を無 いうことはあらたまって言うべ 叉、いいものだ、と言い切るの めつけることは不可能である。

とされるは限らない。徹底した 懐古的な意思とは全く浅はかに が必ずしも現在においてもヨシ る人、もっと目を見開いて、 というものをはっきのと見てみ よう。そこにはきっと何かが見 そこで最後。懐古に酔ってい

番下にいる者は見られなかったほ 門へ何百人もの生徒が殺到するの ある。わずか三メートル余の狭い どである。大事に至らなかったの だから、万一の事故も起りかねな る者が見うけられた。それともう い。事実、今回にも、中学のスタ つはスタートの処理のまずさで トの時に将棋倒しをやって、一 中学 一位 三位 七位 九位 八位位 四位 **三**野稲 安藤

 Ξ

<u>=</u> <u>=</u> B

想

語り」というテレビ

再び目をやったとき、火の色を れているであろう中腹あたりに

「世にも不思議な物

番組を見たことがあ

科学では説明のつか

引いて西の空に飛び去るかに見

など祈るような気持をもって、 余地もない。もう上ってくれる たという「火事の神」だ。疑う 声を出した。年寄達が何回も見

夕方になったので、

時、私達三人の見

670

飛び上り、青色をした長い尾を した丸い大きな玉が、地表から

七 六 五 位 位 二橋 中堀 北条 安藤 大山多景石 正直 識 利積

八位 竜村 Ξ \subseteq A

四十一分

高校入 実施さる

に難しいが、科学的な証明より

「信じる」ということは非常

ることになった。 に、もう一つ新しい学級が作られ た様に、来学年度から高校一年生 朝礼で、校長先生から発表があっ この前の一月三十一日(木)の 二十日までである。

られる通り、来学年度は非常に生 徒数が多くて洛星としても、もう 理由としては、諸君が知ってお

望が中央および京都数区よりあっ

心となる。

い、又過去でヨシとされたもの とは言えるし、又言うべきだと き必要はなかろう。 つまり懐古主義を悪だ、と決

奥田 三十二秒 $\frac{\widehat{\Xi}}{\underline{C}}$ $\frac{\mathbb{S}}{\mathbb{B}}$ (E) Ξ $\frac{\widehat{\Xi}}{\mathbb{C}}$ $\frac{\Xi}{A}$ (B) ない「神」とか「霊」とか「何 ね。皆さんば、その番組を一体 か超自然的な感覚」などについ ていろ いろと 見せて くれます

〇四秒

中学 三十五分 十位

$\frac{\Box}{\Delta}$

たことが、あげられる。 出願期間は、二月十六日より二月 募集人員は、約四十五名。又、

数学・理科・国語・社会)およ び面接。 選考方法は、筆答試験(英語・

正午に校内に掲示され、合格者に お、合格発表は、二月二十七日の 十四日まで、本校で行われる。な 合せは、堅く断るそうだ。) ば通知される。(又、電話での問 考査期日は二月二十二日から二

いようである。 常な相異で、人数は、今までの編 行われる点が、従来のものとの非 なり、新しく入学試験という形で 入生の数とは、大して変わりはな これは、今までの編入制度と異

半の人が、わけもわからず緊張し 行われた。始めは、中学三年生大 生についての討論の様なものが、 明を聴いて、納得したようであっ ていたようであったが、詳しい説 け集まのいろいろ、編入及び編入 放課後、音楽室で、中学三年生だ た この発表が、行われた当日に、 木曜日で宗教研究日であったが、

トピックス

一で、会計では六円づつの値上げを一▼さて、フランス、イギリス等の 去年の暮の十二月一日から米、ミ ソ、醤油の物価が値上のした為 学期から食堂の料金が一部を除い ▼諸君もすでに御承知の様に、新 て、五円づつ値上切した。これは 一百人程が参列する中で行われて五 定である。 七日東京からカナダに立たれる予 カ月の間日本に滞在され、三月の 時前に終った。又、お父様は約二 本校の全教員及び生徒合わせて約

あんなものはうそだ」「科学でり、叔父だとわかる位明かるかっ どんな気持で見ていますか?「 る道を家へと急ぐ叔父 (はっき 全てでたらめだとは思っていま 私はその番組でとり扱う事件が 証明できないことは信じられな ている者の常ですね。しかし、 てみるのが、現在科学を勉強し い」「番組を面白くするためだ などと疑ってみたり、けなし 3 とを話し、不思議なこともある

うことである?又、値上のしてかったらしいが、わが校においても一ら。それは補導部の移動である。 の他の関係で今の線で押えたと言 したかったらしいが、釣り銭、そ | 西欧諸国の突波が、回り回ってわ | のない話だとは思うが、書いてお | である。 は丁度沈み終った頃だった。見の、二三十米も飛行してから、 信じられる」という例をお話し ことによって、いとも容易に「か、随分長く待ったように感じ も、超自然的な事柄に遭遇する 暗しのきく

門に立って何の気な 年の夏の夕方だったと思う。日 ましょう。確か、小学校の五六 へと眺めていた。二三粁程も離 しに、田、畑、林に続く山の頂 が国にやって来て、例の寒さとな 錯覚ではなかったのだ。「ヒー 三人ではっきの見た。私一人の 例の如くまた破裂した。今度は られたのだが、再び火の玉が上 ていた。十分位たっただろう 地表を 這うようにして 飛び上 った。前とは反対に東の方向へ

あろうと言うこと。今後しばらく らの利用者数は以前と変らないで | 少なからず、この寒波のために被 | つい先日から、今までの「補導部 | が婚約者戸田斐子壌と一月二十日 | 害が出た。

▼ブラザー・プーレンのお父様ア の間値上げすると言うことは無い リスティド・プーレンさんが一月一ウオの水槽まで凍ったらしいが、 そうならない様願いたい。 合えばよし、合わない時は……。 ンさんの追悼ミサがアラール神父 五十九才で亡くなられた、プラザーったことは確かだし、北陸万面で 十七日の午後四時から、衣笠教会一であったという話である。しかし、 らしいが、一年間この線で採算が 様によって捧げられた。この日は ーのお母様アドリエンヌ・プーレ において、去年の八月二十七日に 八日来日された。そこで去る一月 日も早く復旧出来るように祈りた は相当の雪害が出たというし、一 当のサンショウウオは平気の平座一の岩田先生と中三人の野川君が本 用不能となった。又、サンショウ って 洛星会館の 便所が 「使用禁 | りこれにかわって「第四応接室」 止」となってしまったのを始め、 人間様にとってはすごい寒さであ 即ち、水道管が凍りついてしま | 三応接室」が「補導部長室」とな ▼去年の十二月二十三日、英語科 どうかよろしく。 校講堂においてナドウ校長から洗

宗研はお休みになった。ミサはブ一午後謀時頃、中学側校舎の東端北 ラザー・プーレンとお父様そして一側から突然水が吹き出し、たちま ▼右の追伸であるが、謀月謀日、 め、作業場の人達が八万奔走して かかった。驚いた会計の人をはじ ち噴水となって自転車置場にふり

○せられる諸君には、あまり関係 | 校長先生と同じョゼフと言う霊名 | 予定と言うこと。
 ▼さてお次は、大へんかしこくあ そうである。又、野川君はナドウ | そうそう、新鮮とうにか止められたが、いわはや | 霊を受けられた。岩田先生の鑑名 | るそうだ。又、一とつにか止められたが、いわはや | 霊を受けられた。岩田先生の鑑名 | るそうだ。又、一とつにか止められたが、いわはや | 霊を受けられた。岩田先生の鑑名 | るそうだ。又、一とつにか止められたが、いわはや | 一とのでは、

で母を呼び、五十米程離れてい のように「パッ」と飛び散っ えたとき、あたかも破裂するか 上ってくれないかという期待を いな、こわいものみたさでまた

た。「変なのが上った」と大声
こめて、じっと一点を凝視して を呼び寄せて、今見たと とは離れていない場所の畑の 見た。肉眼ではっきり見えた が、音は聞こえなかった。三粁 いた。三度目も上った。三人でくで火の玉が破裂する時には、 を全員で目撃して のです。話は近所

世にも不思議な物語り

理 科 担 当

本

部

広

何年か前に、花火によって小

ものだといいながら、火の玉の 上った方向を息をころして眺め 中に百軒程の人家が散在してい を考えれば、はっきりしている ことや、地表近くでしかも地表 もないことは、音のしなかった した。「花火ではなかろうか」 ととであった。 破裂して消えていったことなど を這つように残んで、音もなく は言っていたが、そのいずれで る所だということも三人で確認 「流星ではなかろうか」と口で 丁度その頃、家から五百米ば び出した。窓は る音に目を覚した。どつきのは め一切の人工的な仕掛けが無か た。夕方火の玉の上った場所か けしい胸を押さえながら庭に飛 うなり出し、父母のびっくりし 点について、火事の翌日、父は ら僅かしか離れて た声と、雨戸をガタガタと開け、火事の現場に行き、花火をはじ 事を恐れていた。 げ、火の粉は空 えていたのだ。 人達は皆信じた 十時頃、サイレンが連続的に っこの火事はを疑うことができないのです。 既に真赤にこ 高く 上ってい

が「第三応接室」となったことで かなければまちがえる人があるか┃▼氷も一瞬に 長室」が「補導部室」となり「第一めでたく結ばれ うお熱い話し。

▼又、国語科の吉村輝一先生も婚

一部では校舎でも水道が漂って使 |ある。今後とも、相かわりませず |た。その後本校食堂で正木、森住 |新婚旅行は伊豆方面と言うこと。 |は一路伊豆へアマイ旅行に旅立た|▼スキー、スケートが中、高生徒 |歳が三唱された。その後新郎新婦| りそうです。 において アラール 神父様 によっ |最後に小野副校長先生の音頭で万| 様に今年は例年にない熱い夏にな 生、生徒の祝福する中で行われの予定日は三月二十七日で京都。 一て、親戚の方々一同、友人、諸先 | と思ったから」だそうである。式 両先生の司会で披露宴が行われ、 英語科の岩田先生 | 二十八才である。 吉村先生が気に た。式は衣笠教会 | 家庭的な所、吉村先生日く「僕の こお場になると言一約された。婚約者は小倉一乃さん 新家庭は未定であるらしい。この 言うことをよく聞いてくればる? いられたのは小笠原先生と同じく

| 美子さん二十三才と去年の十一月 | キーも二月の三日に第一回が行わ れた。嵐山の桜の花が狂い咲きを一の主催で今年も行われた。すでに ▼音楽の小笠原義明先生が増原貴 おいてスケートは行われたし、ス 一月十五日は京都 アリーナーに

美子さんを気にいられたのは、第

るものに

茶道部員によるお茶会が れることになっている。先生が貴┃▼毎年高校の卒業式に行われてい とを一さいまかされる」と先生 に家庭的であること「家庭のと」ある。今年から、入学式及び入学 『一七ノ九である。 き、又、洛星を良く理解してもら新家庭は京都の右のは、父兄の方に休んでいただ 素朴な所などであ一とになった。入試の日に行われる 試験の行われる日にも開かれるこ

ので父は手伝いに行っていた。 かり離れた伯父の り、その日は屋根 上事があったいたのだと。 多で増築が

あ 例の火の玉に依って予言されて

ジヤマ」だと赦父と母はおびえ

皆んなやがておこるであろう火 その晩の中に火事があるという 人達は屋根で休んでいた。その 昔の人の話によると、地表近 証明できるから「信じる」又証 、五六人の大 中広がった。 た「火の玉」 を証明してくれる。それをわれ うか。私達が異なった場所で同 われは信じている。然し、万能 であらせられる「神」の存在 明できないから「信じない」と いうふうに論じあう必要があろ を、われわれは、現在の科学で 一の火の玉をはっきり目感した 玉の事件から、四五時間後に発 のは一体科学でどのように証明 現在の科学はいろいろなこと したらよいだろうか。また火の

の一致であろうか。 生した火事は、火の玉との偶然

いない所で燃れから約二十年たっています。 従ってあの時の火の玉が花火で かと皆も考えるでしょう。その 事だとは言えないのです。 った事を確めてきたのでした。 それ以来、なぜか「神」の存在 あり、それによって起こった火 ましたね、それと同じではない 御所が火事になった事件があり 世にも不思議な事件、もうあ

洗霊式の様子 島市で三月二十八日に式をあげらに行われた。 の三日に婚約された。お二人は広れ、又、第二回目も昨日の十七日 談。又、純情、 しなければいい

しである。

とになったのである。

そうそう、新婚旅行は九州へ行く うという目的から茶道部が開くと

今回で三年目である。 クリスマスも本格的に行われはじめたのは、遂に最近の事であつて、

は、特に、中学生徒会が中心となつて企画した。24日の夕刻八時よりク 始めは補導部の指導で、 クリスマス諸行事も行われて来たが、 今年

リスマス行事は始まり、翌25日の明け方まで続けられた。 又今年は父兄も 多数参加され、 生徒と同じく 徹夜で クリスマスを祝

と多かつた様だ。 そして高校生も、希望参加とは云うもののその参加者は昨年よりずつ 楽しみ合われた。

ションスクールにふさわしい本格的なものとなつてきた。 この様な事で、今回のクリスマスはいよいよ "三年目の正直" かミッ $\times \times \times$

年目 の 正

ラブの合唱である。 クリスマ のある歌の数々を披露した。しかリスマス気分をグンと盛り上げた Aやテレビ、街頭などで聞き覚え 劇まじりの喜劇がはじまった。 ク ス曲特集という様な形で、ラジー抜かれた感じだった。そして人情「リュームは充分だった。 上のぎみだった事と、練習不足 し結果は全くの失敗に終った。少一様だった。 **惟し物の第一番目は、グリーク**|前口上がはじまる。七人が七人と|合唱した。三クラス合同のためか も変な名前で、観客一同、と肝を一少しまとまのに欠けた様だが、ボーたって行われたミサは無事におわ一の学年に遠征して、それはそれな

かの長者であった。驚いたこと 否名先生が一人で
頑張っておられ | C合同で「
赤とんぼ」 を 合唱し しがたたったのだろう。指揮者の 二番手は中三の演劇まっかっ。に大変感激していた様に思われ B、Cの順に歌い、最後に、 た。一年生は始めてのクリスマス その次は一年生の合唱、 AB

七人土下座をしている。そして「|唱であった、白のワイシャツに朱 泉西、東西」という掛声で七人の「色の蝶ネクタイとそれにロウソク イブの行事の最後は、中二の合

たまいぬ」「グロリア」を三部で ちで「雪の降る町を」「主は生れ そして諸行事がようやく終った った。

り時

です 美術部は貴方を 受け 美術部は貴方を 待 っていま

り、情の顔もほころんでいた様だ

た。父兄の人達も「楽しいクリス その後前田先生の司会で、BI

のは十一時でぎであった。これで | に朝方まで童心にかえっておられ 名

恒例の荘厳ミサがルシェンルエル 十二月二十五日午前零時より、 舎は、きれいな飾り付けが、 今年も、例年にならって中学校 施さ

理事長他三名の司祭によって行わ 中三の諸君の作ったステンドグラ まず、補導部の横のドアーには

まったのは午前零時すぎであっ RISTMAS と書かれていた。 中三の安宅君によって行われた。 キリスト降誕の人形が飾られ、そ 年のミサは、オルガン奏者である られ、非常に華麗な感じを出して *ンドルサービスが行われた。今 ス (実はセロフアン)が何枚も飾 全員が講堂に入場して、ミサが始 生徒及び参加者全員によって、キー アラール神父がおれらないため、 して正面には、MERRY CH. いた。又、受付の横の広い所には 又、今年はクラスごとの飾り付

を持ち本物の合唱隊の様ないでた | 父兄の信者も参加された。ミサ中 | ス共に一番オーソドックスな飾り |聖歌を歌い、最後に「ホワイトク| ばえであった。それに反してピク リマス」を歌って、約一時間にわ 生徒は「キリエ」「クレド」等の一付けで、中一にしては仲々のでき た。そして聖体拝領には、生徒と ミサは 荘厳かつ 盛大に 行われ ラスは、何も飾り付けをせず、他 りに楽しかったようである。 けも非常に盛んであった。 まず、中一はAクラス、Bクラ

ント交換が行われた。面を被った | 加地とドアーにセロファンをはり り物の中にもいいものが沢山あ た。 BクラスCクラスは、 それぞ た。今年は百円相当のもので、暗 ニセのサンタクロースが五人現わ 中は、本当に上手なセロフアンの れ皆んなに贈り物を渡して行っ 深夜ミサが終り、恒例のプレゼ (中にはヒドイのもあっ いた れ趣向をこらした飾り付けをして の絵)が窓一面に、かざられてい ステンドグラス(まとまった一つ 次に、中二はAクラスは、バー

いう声が講堂の中でひびいていーン細工がしてあった。Cクラスはまで「ピンゴノ」「ピンゴノ」と一ラスは、仲々おもしろいセロファ マスだ」なんでいって生徒と一緒。仲々うまい飾りつけであった。 NGO。ゲームが行われ、四時頃 派手な飾り付けをしていた。 Bク 非常にまとまったかざり付けで、 要子、クラブ勲と銘うって非常に 中三の、Aクラスは、バーバー

画

経験の 表現に しょうと 努めまし

ために、素描をゆ

がめ、色彩を組った時に、ガッシュ博士という医 空間を暗示する るオヴェールという小さな村に移

た。だから彼の作品には、鉛筆のの目に触れなかったものです。

跡が色彩の配例を創り出したばか・ 彼はこの絵を一八九〇年の六月

オヴ

エールの教会(油絵)

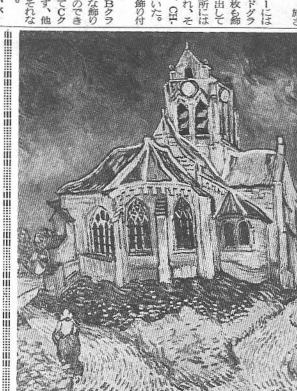
たが、その目的は、彼の感じてい 年にこの絵をルーヴル博物館に寄 向に、いろいろの性質で使いまし その中にあったもので、一九五二

ためのものでし 贈するまで複製もされなく、一般

たととを伝える

つの画に魂をふき入れて、感情的に、形を肉づけ

た。実にたのしいひとときだっ 紹 介 と、印象派的技法を拾て、一つ一 た。 そして セザンヌ と同じよう み合せたり、鉛筆をいろいろの方 者がゴッホの絵を多く買い取った 自然の描写であってはならない ゴッホは、絵画の目的は単なる



りはさらに彼が表現しょうとして れているオヴェール教会で葬式が

のに役立っています。ゆがめられ 日に自殺をし三十七歳でこの世を

考の興奮を伝えるに完成し、一カ月後の七月二十七

シアンゴツホ (一八九〇年作)

ン表面のはだざわ 去りました。そしてこの絵に描か

りでなく、彼自身

た形及び、絵画の

いる感情、連想主義を強調してい行われました。

ます。とのように

して彼は、美術

ゴッホは短い生涯に一七〇〇点

の新しい概念である「表現主義」 以上の絵を書きましたが、彼の感

受性の強い絵は余り理解されませ

を発展させました

この絵は、彼が

パリの北方にあんでした。

紹

の結婚式(言はずと知れた顧問岩 高校合同で「轍」を上演、僕達中 クラブ演劇部は、その歩みの中に| 先ず三月十九日の校長誕生日に、 数多くの 名優、 珍優を 生み出し | 中学、 高校合同で 「池の 鮭の物 | ず、文化祭終了後のクリスマスイ 現在では、校内行事を問わず人 | ムルームの時間に、これまた中学 | て、中三の劇という形で「まっか 洛星創立以来の歴史を誇る我が|結ガッチリスラムを組んで活動。 部 も顧問岩田先生の鼻の下に一致団

気持である。 にだしたことには敬意を払いたい

|は、時間が五十分で一日に七時間 | この新聞はこの間やっと創刊号が | けである。だから一人一人が充分 | もちろん器具がまだそろっていな | の新聞局員の人達と別れをつける ラス中一は四クラス、総計七百人だっった。まず始めに新聞局員を紹一・が備えられている。これだと一 クラス になる らしい。 授業時間 聖クラレッチアン会によって設立 あるカソリック系の男子の学校で くぐってみよう。校舎の正面の壁 の教室 がある。 四十八人が はい 余りで少くないが将来は全学年四 | 介された。 驚いたことにたった四 | 一、中三は二クラス、中二は三ク一た。我々が通された部屋は校長室一して一人に一台のテープレコーダ 生徒数も高三・二は一クラス、高 され、まだ六年の伝統しかなく、 中学校と高校がある。スペインの 啓光学園といっても、知らない URを使っていた。まえおきはと 今回は本校とよく似た啓光学園一る。ここでもやはり英語の教科書 思っただけでも大変であったされたのであるから、まだ未熟「に自分の技術を向上できるわけで「かった

点もあるが)この学校で「ことにした。 た。ここの運動場もかなり広かっ | うじているイヤホーンがある。そ | ことである。三階にいくと理科教 っている、運動場では、バスケットられている、その席一つ一つに先のでこの黒板の効果を聞くと、こ には、本校と同じく十字架がかか 人である。部室もないらしい。こ ン語一時間(中二ー高三)があ の学校のように 細長い 建物であ THE ENGLISH HO れ、腐はそれぞれ壁によって分け 室、まだ薬品がすっかりそろって る。一階にはロッカー、補導部 れ、自分の声は先生に聞こえるだ。校と違いかなり広い部屋だった(一との学校を一まわりしたのでこと

5

後半、二点を先行されて意気の

部の優勝)と合わせて、中高とも

Bが一点を先取、以後高一を圧倒

職となったものである。これで、 会が控えているためにクラブ対抗

戦が行われた。

鹏

戦

八日の放課後に決勝戦と三位決定 の四チームであった。そして二十

前期高校生徒会主催のクラブ対抗 ソフトボール大会(オーケストラ

前半、試合開始後約十分、高二

し、二十三分後に更に一点追加、

高二Bが二対一で優勝した。

間で優勝戦が行われた。結果は、

のもとに催され、一月二十五日午

会」は高一・高二の各クラス参加

まで、放課後を利用して中学生徒がこれら四チームはいずれも準決

去る一月二十三日から二十八日 | 卓球部の二チームが加わっていた

四チーム中には、教員のニチー にうけたかわかるであろう。二十

他

高校生徒会主催の「サツカー大

高校サツカー大会

クラブ対抗卓球大会

徒

会主

ポ

後四時三十分に高一Aと高二Bの | 卓球大会| が開かれた。生徒会内 | ったのは、野球部・スケート部・

部では最初クラス対抗を予定してパレーボール部・ハンドボール部

を訪れてみましょう。

いたが、サッカー・パスケット大

会の主催で、異例の「クラブ対抗

勝までに敗退し、結局ここまで残

啓光学園の卷

間(うち一時間が英会話)スペイ

る。内容となると週に英語が九時

No.

揚らない高一はそのまま押し切ら「クラブの交流を計かることができ

スケート三一〇野球

三位決定戦

右の結果一位ハンドボール、ニ

ハンドボール三一〇パレーボール

非常な意義を持つものとなった。

さて、大会は、二十四チームも 位バレーボール、三位スケート部

と決定した。

これを機会にこれからも毎年ク

事一点を返し、試合を面白くし|参加する盛況ぶりで、中には、ク

七分に高二のバックを突破し、見 れそうに見えたが、後半開始後約

功せず、ニーーのまま試合終了。

しめられ、度々のシュートも成一て出場したクラブもあるらしい。「ラブ対抗の行車を続けていっても」

このことからも、どれほどみんな一らいたいものである。

ラブ員以外の者まで引っぱり出し

田先生のデス)にまで部員一同は 学生にとっては初めての作品らし 提供しているのであります。昨年

人が多いと思いますが、枚方市に れくらいにして、啓光学園の門を の機には本核にもない語学のため くないだろう。 黒板をみるとすべ られていた。 との学校もやはり節 トポール部の人が練習をしてい | 生につうじるマイクと先生からつ | れでもやはり少し反射するという | である。従って、文化祭などはま いないそうであるが、医務室、そ一子が動かずに立つ時などやかまし にして校舎にはいってみょう。こ な点も多いが、四面の新聞を立派 | ある。そして先生は前にいながら | は理科系の教室は一つで兼ねてい それではまえおきはそれぐらい 一室に案内された。そこは明るくて て凹型である。本校の一部の生徒一粛についてきびしいのである。回 と机である、ここの机と椅子はい 受付、校長室がある。二階には普一た、見るとマイクのようなものが にして、生徒一人一人に教えられ は黒板が反射でこまらされている っしょになっている。これだと椅 にはいるとまず目につくのが椅子|イクは校長室に通じていて、やか 通の教室と理科の教室がある教室一ついている。説明によるとこのマ るのである。その次には職員室、 食堂へいってみだ、本校より少

せ参じ、観客皆様に笑いを、涙を一い作品であった。その為である。味わってみたい」という希望か 語」を上演、六月の公演にはホーーブに、中学三年の全面的協力を得 ている新聞部員が上の方を指さし 今年の四月に完成するということ って見ると講堂がまだなかった。 しているとどの教室にも一つつけ るということだった。その後注意 ましくなればすぐ校長先生にわか るらしい。部屋を出る時、案内し 果、照明など随分苦労し成功した一全くいい気持ちだった、そして演しす。演劇部程良いクラブは有りま は大いに反省しております。しか。てて、そろいの神はもう一つであった。この点僕達し辻君の下に中村 っかの長者」を上演した、劇の前 のではないかと思う。文化祭には には、僕達の「一度歌舞伎の味を| 員はサイン 攻めに 為、一つのまとまった劇はでき 部員が各学年単位の劇に出演した|続く名女形原田君が誕生した。そ し、スタッフの面では、汽車の効 うか練習時間をかけた割には出来」ら、出演者一同を座長中村貧弱と一部を事もあろうにつぶすなんて。 やない。当然、中学演劇部は廃止 に入部 される 様望んで いるので !) この様に隆盛を極めている様 す。 今までの演劇部は少し消極的 今や演劇部は校内人気の的、(部 がよじれたことでしょう。そして ざけ、さぞ観客の皆様もお腹の皮 こんな事じやいけない。

僕達の先 の浮き目を見るでありましょう。 るに今のままの状態だと、来年度 のコンクールに出場する様努力し 部員十名の内中三生徒が九人しか | て研究するとか、又できれば色々 て、大危機の状態 の他この劇には多数のニューフェーといえるでしょう。その演劇部が 劇部史上二人目の夕鶴の森田君に 座員一人つつ口上を述べ、僕選は |と辻君の下に中村貧弱一座に仕立 | そこで中学生、否、全校生徒諸君 輩が築き上げてき ラブに成り得るのです。笑い事じ は中学演劇部は部長一人だけのクーたい。 の問題です。なにを隠そう現在、 ます。それは紛れもなく部員不足一外の活動を持つ、例えば毎土曜日 に見える 演劇部も 新学期を 控え であった様に思う。 今後はもっと ースが登場し、劇中では大いにふ | 君を求めているのです、今すぐ有 2苦しむ。サバ た伝統ある演劇 に有るのであり (紙製)を着け 記 す。その時を僕は待ってるゼ。 に定期的に部会を開き演劇につい 能なる諸君、そう君が入部してく ださえすれば良いのです。 数うのは君達である」という事で 意欲的に、具体的にいえば公演以 に次の点を強調したいと思いま 顧問の先生との網密さも校内随 せん。校内唯一の朗かなクラブ、 に当覚して欲しい事は「演劇部を そこで僕は君達が入部し易い様 演劇部紹介先づは全巻の終り。 それ故何が何んでも君が演劇部

には準備する部屋があったが、本一高くてとても明るかった。これで し小さい感じである。しかし窓が 校と同じ様な学校である枚方の「」ませんことをお詫び致しておきま ▼今号より再び 折に、先生方や、 ▼例年の如くに今号は「卒業記念」と企画しております。 じめました。まず最初なので、本一大会」とは紙面の都合上載せられ って、大変助すかのました。 達の御協力で人員不足の当局にと|にかえさせていただきます。 号」として発刊致しました。その |▼例年の顧書受付の記事は、38年 用して遠い他校をも訪ねてみたいは京都付近のみでなく、休みを利

(部長 野川京治)

他校訪問」をは | 」と中学生徒会主催の「サッカー 卒業される先輩 | 度高校一年生一クラス増設の記事 ▼高校生徒会主催「百人一首大会